

高知憲法速報

№156 2008. 5. 12
 発行：高知憲法会議事務局
 088-872-3406
 編集人 事務局 徳弘嘉孝

米海軍イージス艦宿毛湾寄港計画

5月21日から26日まで、アメリカ海軍のイージス駆逐艦「オカーン」が宿毛湾港に寄港する計画であることが、5月8日明らかになりました。

「オカーン」は、アーレイ・バーク級ミサイル駆逐艦で、2006年5月に宿毛湾港に寄港した「ラッセル」と基本形は同じだが、電子戦システムなどを改造してあるという、排水量8700トン、最大乗員218人。ミサイル防衛の要となる高性能レーダーと、核弾頭装着可能な巡航ミサイルトマホークを搭載している1999年10月竣工の新鋭艦。空母「カールビンソン」の戦闘グループに属して、「不朽の自由」作戦(アフガニスタン戦争)、「イラクの自由」作戦(イラク戦争)に参戦しています。

「親善・友好を目的に寄港する」としてはいますが、宿毛湾港は民間の商業港であり、県議会の「高知県の港湾における非核平和利用に関する決議」(1997年)の趣旨からも、昨今の米軍犯罪の状況からも、アメリカ軍艦の寄港はふさわしくありません。何よりもまず、核兵器を搭載していないことを示す「非核証明書」の提出を求めなければなりません。関係者の毅然とした対応が求められます。

「9条世界会議」、4会場のべ33,700人

「武力に頼らずに平和をつくる」一。日本国憲法9条の精神を世界で生かしたいと、広範な団体、個人で日本実行委員会をつくって取り組んできた「9条世界会議」が5月4日から6日まで開かれ、千葉市幕張メッセの集会には全体会1万5千人、2日目の分科会などには6500人が詰め掛けました。広島集会(5日)には1200人、関西集会(6日、大阪)には8000人、仙台集会(6日)には2500人が参加しました。

1日目の全体集会には実行委員会の予想を上回る15,000人が参加(会場に入れない人が3,000人)。31カ国からの150人を超える海外代表と交歓しました。ノーベル平和賞受賞者北アイルランドのマイレッド・マグワイアさんは基調講演で「日本の平和憲法は世界中の人たちに希望を与えている」と指摘。1999年ハーグ平和会議を主宰したアメリカのコーラ・ワイズさんは環境や経済面からも戦争をなくす大切さを訴えました。日本実行委員会共同代表の池田香代子さんは「9条は人類の歴史の本流に位置す

署名集約状況 5/12現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	3,976
県教組		1,133
高教組	10,000	221
私学教組		30
自治労連		2,668
県国公		2,145
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	16,849
商工団体連合会	15,000	16,718
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,652
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		4,620
小計		69,237
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	71,417
こうち九条の会街頭署名		6,589

る」と語りました。池辺晋一郎さんの指揮で、オーケストラをバックに「ねがい」を各国の言葉で歌い、市民と弁護士400人の合唱団がベートーベンの「交響曲第9番」を合唱。アーティストのパフォーマンスやベアテ・シロタ・ゴードンさんやコスタリカ代表のスピーチなども行われました。トーク企画「イラク、アメリカ、日本」では、イラク帰還米兵、元イラク兵、元米陸軍大佐、高遠菜穂子さん、雨宮処凛さんらが討論。2日目は「9条を生かす分科会」で6500人が参加。30を超す多彩なシンポジウム、パネル討論、ワークショップ、シネマ、ミニライブ、展示など盛況でした。3日目は閉会総会。

